

# 札幌地区労連ニュース

〈発行〉  
札幌地区労働組合総連合  
発行者 木村 俊二  
札幌市東区北9条東1丁目2-22  
TEL557-8481 FAX557-8482



札幌地区労連は、6月10日第66回評議員会を開催しました。赤坂正信議長は、あいさつで、今こそ平和とくらしを守る政治が必要だと訴え、7月の参議院選挙で岸田自公政権の転換を図るため市民と野党の共同を前進させようと呼びかけました。

木村俊二事務局長が議案提案を行いました。この間の経過では2月春闘の賃上げ状況にふれケニア労働者の賃上げは昨年より前進し、春闘のたたかいの成果だとしつつも医労連が求める「月4万円」の賃上げにはほど遠いと述べ、更なるたたかいで強化を訴えました。ロシ

ア軍のウクライナ侵略に抗議する行動として2月末から5月15日まで続けられた市民有志の「毎週日曜日（JR札幌駅南口広場）行動」や勤医労西



化」を訴えており、今度の参議院選挙は憲法9条改憲を許さないため立憲野党を前進させることが重要だと訴えました。また、軍事にお金を使うのではなく暮らしや社会保障に税金を使う政治に変えようと呼びかけ、北海道の選挙区は3名で市民

大会までのたたかいの  
重点として第一に「最賃  
闘争」について訴えました。  
岸田自公政権が20  
25年までに全国平均  
「1000円」をめざす  
方針を掲げたが、これで  
はテンポも遅く金額も不  
十分だと指摘。コロナ禍  
で先進国は減税と賃上げ  
(最賃)をセットで行つ  
ている。しかも時給15  
00円が当たり前になり  
つつあり日本だけが遅れ  
ていると述べ、参議院選  
挙で最賃を大きな争点に  
していこうと呼びかけま  
した。

動などを上げ、引き続  
き職場・地域から戦争  
反対の声を上げようと  
呼びかけました。また、  
戦争させない総がかり  
行動、原発反対集会な  
どニコロナ禍での行動制  
限も徐々に解除され運動  
が活発化してきていると  
旨箇。



てきた。政府は統廃合を進めようとしているがコロナ禍で国立・公的病院の重要な役割が浮き彫りになり、すぐ廃止とならなくなつた。国立・公的病院がいつそう国民の医療を守れるよう機能強化

では戦争のためにお金を使うのではなく教育に税金を使う政治にするため頑張りたいと訴えました。国立病院で働く仲間からはコロナ禍で国立・公的病院は国のコロナ対策の最前線で没効を果たし

日本は「自己責任」。教育予算も少なく軍事費にお金を使うのではなく教育に6兆円使えば大学までの教育無料化も実現すると岸田政権の軍拡政

と野党の  
共闘と自公の一騎打ちと  
はならないが立憲野党を  
曾やすて立憲野党の政



勤医労の仲間からは月4万円の賃上げを求めて署名を集め2万筆を超えた。署名を上げても国は変わらない。署名を増やし世論をいつそう広げたい。7月には集会を予定している「ニユーメーデー」として仲間も増やし要求を前進させたいと強い決意を述べました。

# 選挙に行こう！

全労連新聞2022年参議院選挙号外（2022/6/1）より転載

**投票はどうやるの？**

選挙区選挙は候補者名で投票  
最初に候補者名で投票  
比例代表選挙は政党名または候補者名で投票  
次に政党名で投票

期日前投票 仕事や行楽などで選挙当日に投票ができない場合、事前に投票することができます。各市区町村の「期日前投票所」において、午前8時30分から午後8時までです。郵送された「投票所入場整理券」を持参するか、所定の書類に必要事項を記入すれば、簡単に投票できます。

※整理券を忘れても投票できます。

## 参議院選挙 全労連が実現をめざす要求

- ① 最低賃金を全国一律で時間給1500円以上とすること。
- ② 時間外労働の上限時間を引き下げ、勤務間インターバル11時間法制化すること。
- ③ 選択的夫婦別姓制度実現、男女の賃金差別の是正、女性差別撤廃条約選択議定書の批准など、ジェンダー平等社会を実現すること。
- ④ コロナパンデミック収束まで、雇用調整助成金や持続化給付金など国民本位のコロナ対策を拡充し継続すること。
- ⑤ 公立・公的病院等の再編・統合計画は撤回し、医療・公衆衛生体制を抜本的に拡充すること。
- ⑥ 消費税を5%に減税すること。大企業や富裕層への適正課税と軍事費削減で、福祉の充実と教育の無償化、公務・公共体制を拡充すること。
- ⑦ 化石燃料由来電源の廃止と原発の廃炉、再生可能エネルギーへの抜本転換を推進すること。
- ⑧ 憲法9条改憲反対。非核三原則の厳守、核兵器禁止条約の批准、日米地位協定の抜本改定、敵基地攻撃能力保有反対、辺野古新基地建設を中止すること。



札幌地区労連などが加入する「明るい札幌市政をつくる会（略称・『つくる会』）」代表・木村俊二地区労連事務局長は6月5日、札幌市政を検証するシンポジウムを開催しました。札幌市長選まで1年を切ったこの間、札幌市が「福祉灯油」や「除雪問題」など大事な市民生活に関わる施策が不十分だと指摘。除雪問題で市民が困っている時期に秋元市長は2030年冬季オリンピック招致で市民要求そつちのけで走り回っていたと厳しく批判。秋元市政の2期目は開発最優先の市政運営となり、国いなりの大規模な開発が強まつた。一方、福祉灯油や除雪問題など市民の声をないがしめました。秋元市政の2期目は開発最優先の市政運営となり、国いなりの大規模な開発が強まつた。

全日赤札幌血液労組では、6月10日に団交を行い、夏季一時金の増額や一律支給の部分について交渉しました。正規1・95ヶ月、臨時・嘱託1・56ヶ月（正規非正規ともに昨年並）、再雇用1・125ヶ月分（公務員基準に合わせてマイナス0・05）、一律支給なし、6月20日支給予定の回答でした。

北海道センターでは、実質5億円の黒字が出ているにも関わらず、新しい出張所の建設予定があり、それも物価高でどうな

## 夏季一時金で交渉

### 全日赤札幌血液センター労組

札幌市長選まで1年を切ったこの間、札幌市が「福祉灯油」や「除雪問題」など大事な市民生活に関わる施策が不十分だと指摘。除雪問題で市民が困っている時期に秋元市長は2030年冬季オリンピック招致で市民要求そつちのけで走り回っていたと厳しく批判。秋元市政の2期目は開発最優先の市政運営となり、国いなりの大規模な開発が強まつた。

札幌地区労連などがあるが自治体として果たせる役割もあると他都市で実施されている、福祉灯油や補聴器助成など秋元市政を厳しく検証しました。障害者の分野のパネラーカラは、秋元市政は「国以下の施策」も多いと障害者福祉に冷たい秋元市政の実態を報告。

## 秋元市政

### 批判相次ぐ

## 札幌市政を検証する

北海道センターでは、実質5億円の黒字が出ているにも関わらず、新しい出張所の建設予定があり、それも物価高でどうな

## 第1回道最賃審議会 道労連が宣言行動

日本生活を改善するためには、給1500円にむけた国際的な賃金の標準を訴えました。さつぽろ青年ユニオンの佐賀執行委員は自らの経験を語り、最低賃金を上げて欲しいというのは青年労働者の強い要求だと訴えました。北海道労働局前の宣言行動後、午後3時から北海道の今年の最賃を決める第1回目の最賃が開催され、今年の審議日程を確認。次回は7月1日に開催されます。



日本共産党札幌市議団のパネラーカラは秋元市政が2030冬季オリンピック招致、1200万（アクセス）道路、札幌駅前開発など大型開発中の市政で除雪問題など市民要求には耳を貸さない市政であると市民議会をとうして具体的に報告。

札幌市長選まで1年を切ったこの間、札幌市が「福祉灯油」や「除雪問題」など大事な市民生活に関わる施策が不十分だと指摘。除雪問題で市民が困っている時期に秋元市長は2030年冬季オリンピック招致で市民要求そつちのけで走り回っていたと厳しく批判。秋元市政の2期目は開発最優先の市政運営となり、国いなりの大規模な開発が強まつた。

札幌市は新幹線建設をして強行していると残土に対する現地の住民代表が発言。シンポジウムを通じ秋元市政に対する厳しい評価や秋元市政の転換を求める意見も出されました。明るい秋元市政を批判しました。